

巻頭言

病院誌第 24 巻発刊に寄せて

病院長 石橋 悟

「これって〇〇みたいだね。」

何かを見て何かを思い浮かべることは皆さんもありますよね。

今回の病院誌を見た瞬間、どうしてなのかは自分でもよくわからないのですが、  
お客さんが入っているのを見たことがないのに続いているお店、  
それも地方の商店街にありがちな洋品店や食料品店やお菓子屋さんが急に頭の中に出てきました。

どうしてお店を続けていられるのだろうか？

本業以外の収入があるのだろうか？

廃業のタイミングを失ったのだろうか？

時代のニーズに合わせられなかったのだろうか？

映えないからだろうか？

何かすごいことが隠されているのだろうか？

存在することについて、延々と想像が続きます。